

うのすまいとらまい
釜石虎舞 鵜住居虎舞

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 24 年 11 月 28 日

所 在 地：釜石市鵜住居町

保持団体：鵜住居青年会

開 始：江戸時代中期頃

公開機会：鵜住神社例大祭、釜石市郷土芸能祭、
虎舞フェスティバル等



鵜住居虎舞は、鵜住神社に奉納する舞であり、鵜住神社祭典には御神輿のお供として参加しています。門前虎舞（錦町虎舞）より伝わったものといわれ、囃子などは同様です。太神楽の拍子を取り入れたようにも思われる趣をもち、虎頭踊りは優雅で「雌虎」といわれています。手踊りの演目が多いのが特徴です。



昭和初期に銅版が巻いてある横笛が発見され、その笛には「巳之松」の銘が刻まれており、言い伝えなどにより江戸時代末期のものであると推測されます。また、伝承者は江戸時代中期頃の創始と伝えています。

